取組名称：美しい山形を活用した「社会人力育成山形講座」の展開

取組大学：山形大学（代表校）、山形県立保健医療大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、東北文教大学、山形県立米沢女子短期大学、羽陽学園短期大学、東北文教大学短期大学部、鶴岡工業高等専門学校

本取組は、山形県全域の自然、歴史、文化、コミュニティ、産業、県民性等の多彩な地域資源を教育資源として取り込み、社会人力（コミュニケーション力や課題解決力、リーダーシップ等）を身につけた人材、とりわけ山形県の地域・社会・企業等で活躍する、変える、担う人材の育成を目的とする。

人材育成のねらい

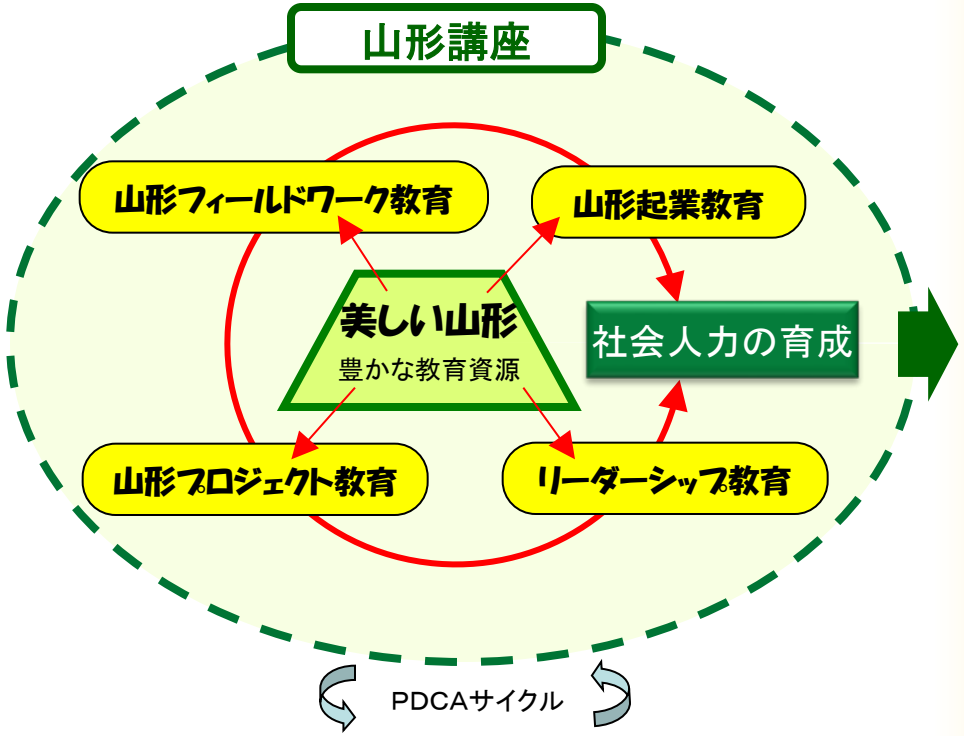
1）高等教育山形宣言(2010年)＜美しい山形から「もう一つの人づくり」を目指して＞の実現

2）社会人として求められている能力（社会人力）の育成
- ・コミュニケーション力
- ・課題解決力
- ・リーダーシップ

3）人口減少時代の地域では人材育成環境の劣化が加速、山形県全体での人材育成の取り組み

プロジェクト化

社会人力育成山形講座の展開



山形人材育成委員会による企画・運営、評価

○連携校: 代表校山形大学、山形県立保健医療大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、東北文教大学、山形県立米沢女子短期大学、羽陽学園短期大学、東北文教大学短期大学部、鶴岡工業高等専門学校
○連携機関: 山形県、山形県市長会、山形県町村会、山形県商工会議所連合会、山形県商工会連合会、山形県中小企業団体中央会、山形県経営者協会
○関係大学コンソーシアム: 大学コンソーシアムやまがた

中間成果（～26年度）

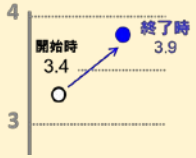
成果1：山形講座の展開
- ・山形講座 30科目の開講
- ・90の多彩な地域ステークホルダーと連携した共同教育

受講者: 504名（目標値400名）
うち単位互換者: 16%

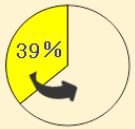
成果2：五つの評価システム
① 3者（学生・教員・地域ｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰ）による授業評価
② ステークホルダー（委員会）による評価
③ IRシステムによる分析
④ 学生の社会人力を評価
⑤ 外部有識者による評価

成果3：高い授業満足度
学生による授業評価: 4.5（5段階評価）

成果4：社会人力の育成



成果5：県内への高い就労希望



達成目標

山形県の地域、社会、企業等において「活躍する」「変える」「担う」人材の育成